

一般社団法人日本鉱物科学会

2022年度 第2回臨時理事会 議事録

- 【1】招集年月日：2022年12月7日(水)
- 【2】開催年月日及び時刻：2022年12月22日(木) 17時00分～19時03分
- 【3】開催場所：山口大学理学部 大和田研究室
753-8512 山口市吉田1677-1
(ZOOM Meetingによるオンライン会議)
- 【4】理事総数および定数：総数22名，定足数12名
- 【5】出席理事数：20名
会長 大和田正明、副会長 井上 徹、阿部なつ江，池田 剛，磯部博志，大藤弘明，
鍵 裕之，川本竜彦，河上哲生，興野 純，栗林貴弘，黒澤正紀，高澤栄一，辻森 樹，
富岡尚敬，永井隆哉，永鷲真理子，坂野靖行，M.Satish-Kumar，三宅 亮
- 【6】欠席理事数：2名 亀井淳志，土屋範芳
- 【7】出席監事：下林典正
- 【8】オブザーバー：(理事以外の幹事等)
出席：行事幹事 片山郁夫、Elements幹事 瀬戸雄介、
2023年年会運営委員会委員長 篠田圭司、JpGU2023プログラム委員 西原 遊
- 【9】議事概要

大和田理事の発議により議長を理事の互選で選ぶことになり，磯部博志理事が議長に選出された。次に，決議定足数と開始時刻における出席理事数の確認を行い，理事20名の出席を確認したので，定款30条により理事会が成立した。このことを受け，磯部議長はWEB会議システム(ZOOM Meeting)を用いての理事会開会を宣言した。また，WEB会議システムの通信状況(出席者全員の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり，適時的確な意見表明が互いにできる状況)に問題がないことを確認し，2022年度第2回臨時理事会を開始した。

会議に先立ち，理事の互選で磯部博志理事が書記として選出された。

I. 審議事項

第1号議案 JMPS編集委員会内規改正について (M.Satish-Kumar英文誌編集幹事・理事)

M.Satish-Kumar英文誌編集幹事より、JMPS編集委員会内規を下記の通り改正することが提案され、審議の結果、提案通り承認された。

JMPS (Journal of Mineralogical and Petrological Sciences) 編集委員会内規

1. 一般社団法人日本鉱物科学会は，運営細則第7条(5)の定めるところにより，英文誌JMPS(Journal of

Mineralogical and Petrological Sciences)の円滑な編集および発行を目的として、JMPS 編集委員会を置く。

2. 本委員会は、編集委員長、副編集委員長、編集委員、および編集顧問で構成する。

- (1) 編集委員長は、一般社団法人日本鉱物科学会運営細則第1～5条によって会長に委嘱された英文誌編集幹事が担当する。編集委員長は、各年度2回以上、編集委員会を招集し、総括する(ただし、通信による会議を含む)。
 - (2) 編集委員は、編集委員長が指名し、会長が委嘱する。編集委員は、原則として正会員から選出するが、専門領域によっては、会員以外から若干名を選出することができる。
 - (3) 副編集委員長は、正会員である編集委員の中から3名を編集委員長が指名し、会長が委嘱する。副編集委員長は、編集委員長の職務を補佐し、もし、編集委員長に事故があるときは、副編集委員長が協力してその職務を代行する。
 - (4) 編集顧問は、編集委員長が指名し、会長が委嘱する。編集顧問は、JMPSの質と知名度の向上に貢献することを職務とし、編集委員会の他のメンバーと協力し、JMPSの編集および発行に助言、提案を行う。
 - (5) 編集委員長、副編集委員長、編集委員および編集顧問は、その任期を2年とし、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに係る定例総会終了時までとする。再任を妨げない。なお、任期途中の編集委員および編集顧問の交替は、委員会の了承を必要とし、その任期は前任者の残任期間とする。
3. 本委員会は、第1条の目的を達成するために、次の活動を行う。

- (1) JMPSの企画、編集、投稿規定、体裁などに関すること
- (2) 投稿論文の査読審査に関すること。
- (3) 論文掲載の決定に関すること。
- (4) その他、編集、刊行に関すること。
- (5) 次期英文誌編集幹事を会長に推薦すること。

4. 本内規の変更は、編集委員会の承認および日本鉱物科学会の理事会の承認を必要とする。

附則

この内規は、法人設立登記の日から適用されるものとする。

2019年8月29日改正

2022年12月22日改正

第2号議案 将来企画委員会委員について(大和田会長、井上副会長)

大和田会長より設置の背景、委員の構成について説明された。次いで、井上副会長より各委員からは承諾を得られていること、及び検討の方向性について説明された。

審議の結果、提案通り異議なく承認された。

委員長は副会長が担当し、会長が指名する。副委員長は委員の中から委員長が指名する。委員は、委員長によって、正会員、名誉会員の中から指名され、理事会で承認され、会長がこれを委嘱する。

委員長：井上 徹(副会長)

副委員長：大藤弘明

委員：森下知晃、阿部なつ江、鍵 裕之、中村美千彦、河上哲生、中野伸彦、永嶋真理子
諮問に係る幹事：磯部博志(庶務幹事)、栗林貴弘(会計幹事)、高澤栄一(和文誌編集幹事)、M.Satish-Kumar(英文誌編集幹事)

第3号議案 財政再建に関するWGの設置について(大和田会長)

大和田会長より、本WE設置の趣旨ならびに主査及び委員の構成が提案された。鉱物科学会の財政再建について、将来企画委員会とは別の観点から議論していきたい旨説明された。

審議の結果、提案通り承認された。

主査：栗林貴弘(会計幹事)

委員：大和田 正明(会長)、井上 徹(副会長)、富岡尚敬(会計副幹事)、磯部博志(庶務幹事)、

黒澤正紀(庶務副幹事)、阿部なつ江(会員幹事)、瀬戸雄介(Elementals 幹事)

第4号議案 2023年年会(大阪公立大学)について(磯部庶務幹事・理事、説明：片山行事幹事)

磯部庶務幹事より、2023年年会の運営方法、開催形式等について行事委員会から提案がある旨説明し、詳細について片山行事幹事より説明された。

2023年度年会より、従前の方式から以下の3点について変更を提案する。

- ・ 要旨提出方法の変更
PDFファイル提出を廃止し、web入力のみとする
- ・ 決済システムの導入
クレジットカードによる支払いを導入する
- ・ 大会形式について
口頭発表は現地開催とオンライン参加のハイブリッド形式とし、ポスター発表は現地発表のみとする

審議の結果、提案通り承認された。

第5号議案 2024年年会(名古屋大学)LOC委員長について(大和田会長、説明：片山行事幹事)

大和田会長より、2024年年会(名古屋大学)現地運営委員長について、道林克禎会員(名古屋大学大学院環境学研究科)が提案され、経過については片山行事幹事より説明された。

審議の結果、提案通り承認された。

その他

特になし。

II. 報告事項

1. 学会事務局の業務委託に向けた協議について(大和田会長、栗林会計幹事)

2023年4月からの学会事務局業務の委託に向けて、小宮山印刷工業との協議について大和田会

長から経過が報告された。第1回臨時理事会での審議で指摘された、現在同社が学会事務局業務を受託している二学会関係者からの情報収集については、特に問題無く運営されているとの情報を得ている。

次いで、栗林会計幹事から、学会財政との関連を含め、事務局業務の簡素化を図るべく協議を進めている旨説明された。

2. 会員管理および会費決済システムの移行について（阿部会員幹事、栗林会計幹事、磯部庶務幹事）

阿部会員幹事より、入会申請および会費決済を含む会員管理システムを、年会運営システムを委託しているアトラス社のSMOOSYシステムへ移行するため、詳細な打合せを行っている旨説明された。

本システムは既に相当数の学会で運用されている。入会申請と会費納入、入会承認までについて、鉱物科学会のフローに沿った手順を構築中。学生会員の管理についても、詳細を検討中。会員全体に関係するシステムであるため、今後も情報提供を行いつつ進めて行く。

3. Elementsの現状について（井上副会長）

井上副会長より、Elements誌の現状と編集体制の変更などについて、12月1日に開催されたExecutive Committee Virtual Meetingの概要が報告された。

過去3年間に発生した編集体制の問題は解決し、発行の遅れは取り戻されつつある。ただし、Elements誌も財政上の問題を抱えており、対応について検討されている。

今後の対応は、会長、副会長、Elements幹事に一任し、対応を進めることが確認された。

4. 日本学術会議「未来の学術振興構想」策定に向けた「学術の中長期研究戦略」提案へのサポートレター提出について（磯部庶務幹事）

次の2件について、幹事会で文案を検討し、日本鉱物科学会会長名でサポートレターを提出した。

- ・「革新的技術に基づく地球深部物質科学の学際的推進と新たな融合分野の創成」（愛媛大学）
- ・「地球惑星科学・諸科学・社会とのミュオグラフィ連携研究基盤構築」（東大地震研究所ほか）

5. 会員報告（阿部会員幹事・理事）

阿部会員幹事より、第1回定例理事会以降の会員動向について報告された。

2022年12月22日現在の会員数は808名である。

内訳 811人(9/17第1回理事会)+3(復活)-1(物故)-4(退会)-1(不明) = 808人

6. その他

特になし。

【10】閉会

以上の議事を終え，19時03分に閉会した。

上記の決議を明確にするため，出席した会長，副会長及び監事がこれに記名押印する。

令和5年(2023年)1月31日

会 長 大和田 正明 印

副会長 井上 徹 印

監 事 下林 典正 印
(配布時押印省略)